

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	理学療法概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年		学期及び曜時限	後期	教室名	903
担 当 教 員	永吉 啓吾	実務経験とその関連資格	理学療法士として病院で5年勤務。その他クリニック、訪問リハ、デイサービスにて勤務経験有り。認定理学療法士(学校教育)			
《授業科目における学習内容》						
<p>講義・グループワークから理学療法士の職業理解を深める。 理学療法プロセス(情報収集、検査測定、動作分析、理学療法)を経験する。 卒業生の活動を聞き職業理解を深める。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期試験:50% 小テスト:20% レポート:30%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「基礎理学療法学」医歯薬出版						
《授業外における学習方法》						
<p>シラバスを参考に教科書の予習を行って下さい。 授業でやったことを復習して下さい。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
①前提:主体的に取り組んで下さい ②授業ルール:必要時はスマホで調べて構いません ③魅力:これから目指す理学療法士という職業を知る第1歩の授業です						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	クラスの学ぶ場作りを行う	配布プリント		特になし
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション アイスブレイク:「水夫と老人」			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	理学療法の歴史・理念・定義を説明出来る	教科書		教科書読んでくる
		各コマにおける授業予定	理学療法の歴史・理念・定義 ポートフォリオ作成			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療 職能団体 ADL、QOL について説明出来る			教科書読んでくる
		各コマにおける授業予定	チーム医療 職能団体 ADL、QOL			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	前3回の確認テスト。職業倫理について考える	小テスト		教科書読んでくる
		各コマにおける授業予定	小テスト 職業倫理について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	NEEDの抽出を経験する	配布プリント		特になし
		各コマにおける授業予定	PTプロセス NEED抽出			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	症例ケースのNEEDを抽出出来る	配布プリント パソコン、プロジェクター	前回の復習しておく
		各コマにおける授業予定	NEED抽出		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	姿勢観察・動作観察を経験する	配布プリント パソコン、プロジェクター	前回の復習しておく
		各コマにおける授業予定	姿勢観察・動作観察		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	ROM-t、MMTを経験する	ゴニオメーター	特になし
		各コマにおける授業予定	理学療法検査測定		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	問題点抽出 ICFの書き方を学ぶ	配布プリント パソコン、プロジェクター	特になし
		各コマにおける授業予定	問題点抽出 ICF		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	症例ケースの問題点抽出、ICFを書けるようになる	配布プリント パソコン、プロジェクター	前回の復習しておく
		各コマにおける授業予定	問題点抽出 ICF		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	筋力増強練習・関節可動域練習を経験する	動きやすい服装	特になし
		各コマにおける授業予定	治療プログラム		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	治療体操 有酸素運動を経験する	動きやすい服装	特になし
		各コマにおける授業予定	治療プログラム		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	卒業生の経験を聞き理学療法士学生のイメージが持てるようになる		特になし
		各コマにおける授業予定	卒業生の話し		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	卒業生の経験を聞き理学療法士学生のイメージが持てるようになる		特になし
		各コマにおける授業予定	卒業生の話し		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	PTプロセスの復習・振り返り	配布プリント パソコン、プロジェクター	特になし
		各コマにおける授業予定	PTプロセス まとめ		